

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり						
施策の基本方針								
<p>子どもを安心して生き育てることができるまちづくりを目指し、保育所定員の拡大など、保育サービスを充実するとともに、常設子育てサロンの拡大、子育て世帯専用の市営住宅建設など、地域に密着した子育て支援体制を充実します。また、切れ目のない母子保健サービスを提供できる体制を整備するなど、母子の健康支援を推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)					進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	26年度(予算)	合計	
施策1 子育てと仕事などの両立支援								
	保育所整備事業	7,451,000	2,507,177	1,805,459	2,956,398		7,269,034	97.6
	家庭的保育事業	462,000	15,607	67,624	147,756		230,987	50.0
	事業所内保育施設の設置促進	40,000	0	27,200	30,000		57,200	143.0
	認可外保育施設運営支援事業	417,000	0	67,891	188,298		256,189	61.4
	私立幼稚園預かり保育運営支援事業	154,000	0	17,288	67,889		85,177	55.3
	ミニ児童会館等の新設	535,000	66,232	182,250	143,300		391,782	73.2
	放課後児童クラブの充実	688,000	63,485	185,203	218,987		467,675	68.0
	ワーク・ライフ・バランスの推進	40,000	420	180	5,000		5,600	14.0
	病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)	10,000	0	80	2,538		2,618	26.2
施策2 子どもと母親の健康支援								
	子ども医療費助成制度の拡充	146,000	0	52,247	62,696		114,943	78.7
	母子保健の充実	150,000	30,693	0	0		30,693	20.5
	(仮称)救急安心センターさっぽろの設置【再掲】	263,000	3,557	24,455	127,500		155,512	59.1
	ちゅうおうスタイル食育事業～未来につなげる食の大切さ～	3,000	0	1,122	1,073		2,195	73.2
施策3 地域での子育て支援の充実								
	地域子育て支援拠点事業	418,000	14,442	41,168	93,242		148,852	35.6
	区保育・子育て支援センター整備事業	594,000	230,933	0	3,776		234,709	39.5
	子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)	2,235,000	3,413	1,260,120	216,000		1,479,533	66.2
	病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)【再掲】	10,000	0	80	2,538		2,618	26.2
	健やかな子育て支援事業～親子で元気ところからだ～	4,000	420	623	785		1,828	45.7
重点課題合計		13,620,000	2,936,379	3,732,990	4,267,776	0	10,937,145	80.3

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 子育てと仕事などの両立支援							
保育所整備事業							
1	保育所定員数	19,008人 (H23.4.1)	20,198人 (H24.4.1)	21,407人 (H25.4.1)			23,008人 (H27.4.1)
家庭的保育事業							
2	保育ママ数	6人	11人	21人			40人
事業所内保育施設の設置促進							
3	事業所内保育施設設置補助件数(累計)	－	0件	9件			8件
認可外保育施設運営支援事業							
4	児童福祉施設最低基準を満たす施設への補助件数	－	－	8件			10件
5	市の認可外支援基準を満たす施設への補助件数	－	－	6件			44件
私立幼稚園預かり保育運営支援事業							
6	預かり保育を実施する私立幼稚園に対する補助件数	－	－	28件			70件
ミニ児童会館等の新設							
7	放課後の居場所のある小学校校区数	164校区	169校区	178校区			202校区
放課後児童クラブの充実							
8	放課後児童クラブの対象学年	1～3年生	1～4年生	1～5年生			1～6年生 (25年度)
9	児童クラブの開設時間	8時45分～18時	8時45分～18時	8時～19時			8時～19時 (24年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進							
10	認証取得企業数	258社	304社	369社			650社
病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)							
11	利用件数(病児・病後児)	700件	805件	636件			1,024件
施策2 子どもと母親の健康支援							
子ども医療費助成制度の拡充							
12	子ども医療費助成の助成対象	小学生まで 助成対象	小学生まで 助成対象	中学生まで 助成対象			中学生まで 助成対象 (24年度)
母子保健の充実							
13	情報システムの整備	－	設計	稼働			稼働 (24年度)
(仮称)救急安心センターさっぽろの設置【再掲】							
14	電話相談窓口の開設	－	－	－			開設 (25年度)
ちゅうおうスタイル食育事業～未来につなげる食の大切さ～							
15	中央区食育ネットワーク会議の設置	－	未設置	設置			会議設置と協働事業の実施
16	食育事業参加者数	294人	327人	463人			360人

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街				
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 地域での子育て支援の充実						
地域子育て支援拠点事業						
17 常設子育てサロン設置箇所数	11カ所	31カ所	32カ所			97カ所
区保育・子育て支援センター整備事業						
18 区保育・子育て支援センター設置箇所数	6カ所 (H23.4.1)	7カ所 (H24.4.1)	7カ所 (H25.4.1)			8カ所 (H27.4.1)
子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)						
19 子育て世帯専用市営住宅の整備戸数	—	—	—			40戸
病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)【再掲】						
20 利用件数(病児・病後児)	700件	805件	636件			1,024件
健やかな子育て支援事業～親子で元気ところからだ～						
21 地域の子育て支援者への研修(累計)	1回	2回	4回			8回
22 リズム運動参加親子数	98組	99組	145組			200組

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)
市民意識・行動指標							
1	子どもを生み育てやすい環境だと思う人の割合	54.6% (22年度)	53.2% (23年度)	55.2% (24年度)			70% (26年度)
		保育所整備をはじめとした様々な施策に取り組んでいることが一因となり、23年度から数値が微増したと考えられる。					
2	子育てに関して不安や負担感を持つ保護者の割合	46.7% (20年度)	65.1% (23年度)	54.8% (24年度)			40% (26年度)
		東日本大震災などの影響もあって23年度の実績値は悪化したと考えられる。24年度の実績値は回復傾向にあるものの、現状値の水準までには回復しておらず、長引く景気の低迷などが影響していると考えられる。					
3	仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	38.8% (22年度)	44.2% (23年度)	47.4% (24年度)			60% (26年度)
		社会的にワーク・ライフ・バランスに関する制度の整備が進められており、本市においても普及啓発等によりワーク・ライフ・バランスが浸透してきていることで、実績値が上昇したと考えられる。					
4	希望した時期に希望した保育サービスを利用できた人の割合	45.0% (22年度)	49.7% (23年度)	54.8% (24年度)			60% (26年度)
		数値は増加傾向にあり、その要因としては、保育所整備による定員増、延長保育実施施設の増加、一時保育実施施設の増加などが考えられる。					
5	(就労等による留守家庭の場合)子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思う人の割合	— (22年度)	38.3% (23年度)	39.1% (24年度)			60% (26年度)
		平成24年度は、児童クラブ開設時間の延長などを行ったが、今回の実績値は前年度とほぼ同水準であった。要因の一つとして、より安全な放課後の居場所として小学校内に設置されているミニ児童会館に対するニーズが高まっていることが考えられる。					
6	子育てについての相談体制に満足している人の割合	38.2% (22年度)	37.0% (23年度)	33.4% (24年度)			60% (26年度)
		子育て家庭が抱える様々なニーズに対応した相談機能の充実を図っているが、市民に対し相談機関の情報が十分周知されていないことが、実績値が低い要因の一つと考えられる。					
社会成果指標							
7	保育所待機児童数	1,339人 (23年度)	1,389人 (24年度)	757人 (25年度)			0人 (27年度)
		札幌市の待機児童数 [*] は、着実な保育所などの整備により数値が減少した。 [*] 待機児童数には、特定保育所のみ希望し入所していない児童数も含む。また25年度から、主に自宅で求職活動を行っている世帯の児童数を除いて計上している。					
8	札幌圏で育児休業を取得した人数	9,763人 (22年度)	11,086人 (23年度)	12,491人 (24年度)			13,000人 (26年度)
		子育てをしながら就労を継続したいと望む女性が増えるとともに、企業側でも人材確保の面から、就業継続に向けた環境整備に努めたことが、数値の上昇をもたらしたと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	子育てと仕事などの両立支援	
24年度の主な取組内容(実績)		
私立保育所の新設等に補助し、定員1,209人増。	保育ママを10人増員。	
事業所内保育施設設置費の一部を補助(9件)。	ミニ児童会館を10カ所整備(うち1カ所は再整備)。	
放課後児童クラブの対象学年を5年生まで拡大。	私立幼稚園預かり保育運営費の一部を補助(28件)。	
25年度の主な取組内容(予定)		
私立保育所の新設等に補助し、定員1,210人増。	保育ママを11人増員。	
事業所内保育施設設置費の一部を補助(10件)。	ミニ児童会館8カ所(うち1カ所は再整備)、放課後子ども館2カ所の整備。	
放課後児童クラブの対象学年を6年生まで拡大。	私立幼稚園預かり保育運営費の一部を補助(41件)。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【保育所整備事業】平成25年4月1日現在の待機児童数は757人(厚生労働省への報告数398人及び特定保育所のみ希望し入所していない数359人)となり、昨年と比較し減少したが、今後も、経済状況の悪化に伴う就労希望世帯の増加等による新たな需要の喚起が考えられることから、保育需要に対応した柔軟かつ積極的な保育所整備の実施が必要である。</p> <p>【放課後児童クラブの充実】児童クラブ及び民間児童育成会の対象学年の拡大については、1,500人を超える4～5年生の登録があったことなどから、安全で安心な放課後の居場所づくりに少なからず貢献したものとする。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【保育所整備事業】保育需要は増加の一途を辿っており、今後も保育需要の動向を見ながら、積極的な保育所整備を実施していく。</p> <p>【放課後児童クラブの充実】全ての小学生の留守家庭児童が、放課後を安全・安心に過ごし、健全な育成がはかれるよう、時間延長の継続や放課後児童クラブの対象学年を6年生までに拡大するといった児童クラブの充実を図る。</p> <p>【ワーク・ライフ・バランスの推進】制度がより多くの企業に認知され、活用されるよう、金融機関を通じた周知、経済関連団体との連携に重点を置くなど効果的な周知方法のあり方を検討していく。</p>		
施策2	子どもと母親の健康支援	
24年度の主な取組内容(実績)		
乳幼児健診等の情報を一元管理する情報システムの稼働開始。	子ども医療費助成制度の対象を中学生にまで拡充。	
25年度の主な取組内容(予定)		
5歳児健康相談等の導入に向けて実施方法などを検討。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【母子保健の充実】システムが稼働したことにより、母子保健事業に関する情報を一元化し、切れ目のない支援を効果的に実施する体制を整備したことから、子育てに関する不安や負担感の減少に寄与している。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【母子保健の充実】5歳児健康相談等の導入に向けた検討を行い、就学前の子どもの支援を充実させ、子育てに関する不安や負担感の減少につなげていきたい。</p>		

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策3	地域での子育て支援の充実	
24年度の主な取組内容(実績)		
常設子育てサロンを1カ所増設。		親とのグループミーティングや学習会などを実施。
子育て支援住宅の実施設計を実施。		
25年度の主な取組内容(予定)		
常設子育てサロンを31カ所増設。		子育て支援住宅の建設工事に着手。
南区保育・子育て支援センターの基本・実施設計。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【地域子育て支援拠点事業】育児に関する相談や地域の親子が自由に交流することができる子育てサロンについて、更なる利用者の利便性向上のため、常設サロンの設置に取り組むことで、子育て中の保護者の不安や負担感を軽減することに貢献している。</p> <p>【区保育・子育て支援センター整備事業】入所申込はもとより、一時保育や子育て支援事業についても多数の利用者が訪れており、子どもを生み育てやすい環境づくりに一定の成果をあげている。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【地域子育て支援拠点事業】区と連携し、情報収集や地域に身近な地域主体サロンとの連携や調整を行うなど、地域関係者との情報交換を進めながら、各地域の実態を踏まえた整備を進めていく。</p> <p>【区保育・子育て支援センター整備事業】子どもを産み育てやすい環境づくりのため、子ども・子育て支援新制度における幼保連携型認定こども園の具体化も注視しながら、全区設置の計画策定を進める。</p>		
協働の状況		
【家庭的保育事業】地域の一員である保育ママの居宅で保育を行う中で、住民と積極的に交流し、地域の子育て力の向上につながるような保育環境を醸成する。		
【放課後児童クラブの充実】児童会館・ミニ児童会館の活動に、市民のボランティア協力を得ながら、地域全体で子どもを育てていく環境づくりに取り組んでいる。		
【ワーク・ライフ・バランスの推進】融資の窓口となる金融機関への情報提供及び多くの企業に認知されるための関係機関との連携を進める。		